

## 兵庫県広域緑地計画の概要

### I はじめに

#### 1. 計画の位置づけ

- ・兵庫県の主として都市地域における緑地の保全と創出のための総合的な計画

#### 2. 計画の目標時期

- ・21世紀初頭（平成8年3月策定）

### II 第1部 兵庫県の緑の現況

#### 1. 兵庫県の全体像

##### 1) 自然的、歴史的環境

- ・県内の地形、地質、河川、ため池、海、動植物状況、気象、文化財、歴史と地域風土、景観、都市計画区域指定の状況（策定当時の平成5年度頃各種諸元）

##### 2) 社会的環境

- ・県内の地域別の人口、産業、農林業、県民意識、交通、大規模プロジェクト、レクリエーション施設の状況（既存統計資料等の各種諸元）

##### 3) 都市化の動向

- ・D I D人口、面積の推移の状況

##### 4) 大規模開発等の動向

- ・県内の大規模開発の推移の状況

#### 2. 兵庫県の緑地の現況

##### 1) 緑地面積等の状況

- ・県内の全体の土地の状況（昭和62年のランドサット資料等より）

##### 2) 都市公園の整備状況

- ・県内都市公園の整備状況等

###### ①都市公園整備状況

（平成7年時点）

都市公園面積(ha)	都市計画区域人口	一人あたり公園面積(m <sup>2</sup> /人)
4,536.7	5,104千人	8.9

##### 3) 地域制緑地の現況

- ・県内の近郊緑地特別保全地区、緑地保全地区、風致地区等の状況

（平成8年3月時点）

近郊緑地特別保全地区面積	1,986 ha
緑地保全地区面積	141 ha
風致地区面積	14,739 ha

#### 3. 兵庫県の地域整備、都市整備の状況

##### 1) 兵庫県における緑施策

- ・全県の緑に関する構想計画などの経緯、緑化に関する県及び市町の条例などの状況

##### 2) 上位計画等による地域整備の方向性

- ・当時の県政の長期総合指針である「兵庫2001年計画」における各地域（神戸、阪神、東播磨、西播磨、但馬、丹波、淡路）の整備の方向等

#### 4. 兵庫県広域緑のマスタープラン（広域緑地計画）策定の課題

##### 1) 県土と緑の特性のまとめ

- ・県内の各地域別の緑特性、緑地の確保状況

##### 2) 兵庫県広域緑のマスタープラン（広域緑地計画）策定の課題

- ・広域緑地計画策定にあたって盛り込む事項、検討すべき課題
  - ・緑の計画目標の設定
  - ・新しい緑の施策の検討など

### III 第2部 兵庫県広域緑地計画

#### 1. 兵庫県広域緑地計画策定方針

##### 1) 計画理念の検討

- ・全県全土公園化構想（昭和60年3月）、緑の総量確保推進計画（平成3年3月）などこれまでの県の取り組み等を踏まえた、基本目標、基本的方向性（ランドデザイン）

- ・これまでの緑の総量を減らさない、増やす取り組みに、県民の幅広い参加・交流による県土づくりの推進の視点も加えた展開

###### （基本目標）

- ・県民参加・交流によるいのちのみどり、こころのみどりの創出と活用

##### 2) 計画の目標の検討

- ・緑の政策大綱（建設省平成6年7月）、これまでの都市公園整備実績などを踏まえ、目標水準を設定

###### （目標水準）

- ・21世紀初頭の都市公園整備目標水準 **20m<sup>2</sup>/人以上**
- ・市街地の緑地確保目標水準 **市街地面積の30%以上**

##### 3) 広域緑地計画の策定方針

- ・都市化の進展の著しい阪神間・神戸、東播、中播・西播の都市計画区域などの各地域別に、緑の現況、緑の問題点を踏まえた、緑地の保全整備方針を整理

###### （緑地の保全整備方針）

- ①地域を代表する緑地帯、緑地軸の保全整備
- ②地域の個性を生み出し、地域の緑の骨格を形成する緑地の保全整備
- ③自然との共生の視点から、ビオトーププランでいう個別空間ビオトープとして重要な緑地の保全整備
- ④広域避難地、避難路、防災緑地帯等の防災機能を有する緑地の保全整備
- ⑤広域レクリエーション拠点となる緑地の保全整備
- ⑥地域を代表する景観形成に資する緑地の保全整備
- ⑦地域を代表する歴史的環境の形成に資する緑地の保全整備

#### 2. 兵庫県広域緑地計画

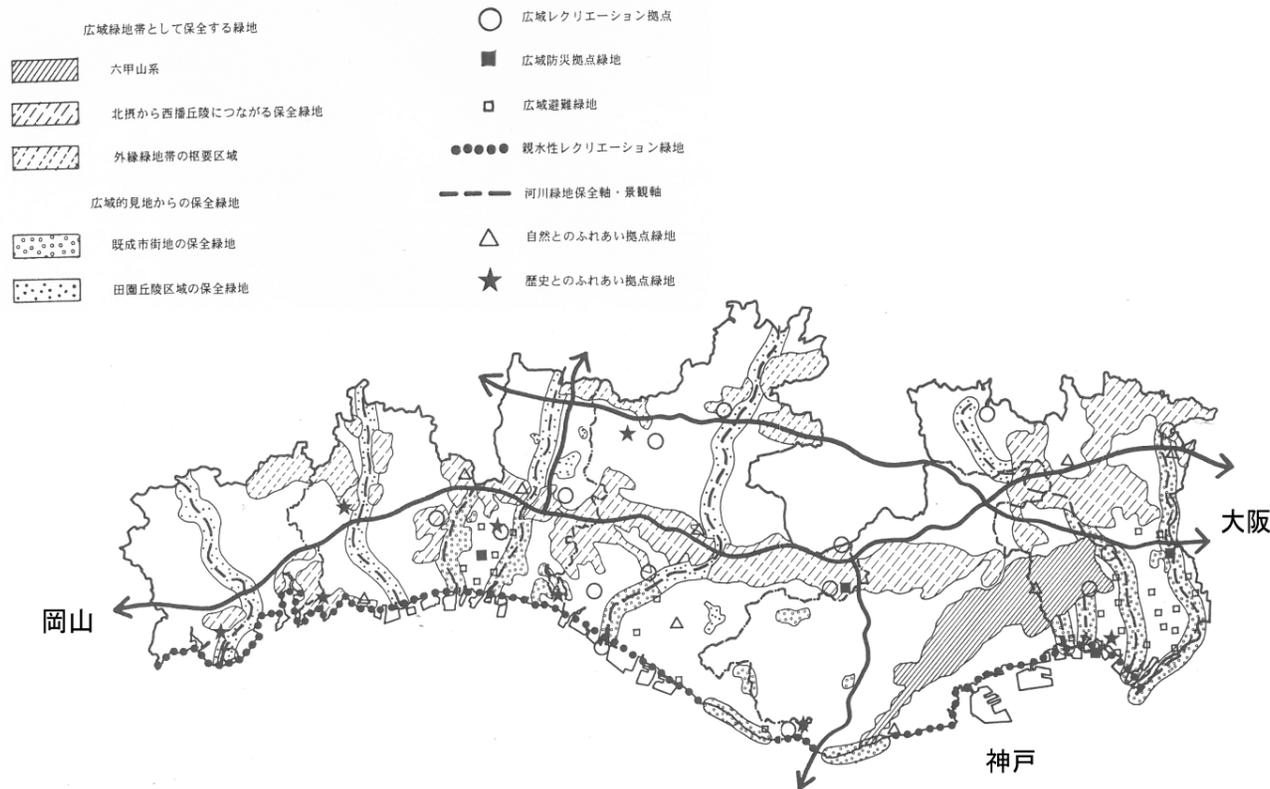
- ・都市化の進展の著しい阪神間・神戸、東播、中播・西播の都市計画区域の全体を対象とした広域的な見地から①広域緑地保全計画、②広域緑地整備計画、③実現のための施策の方針の3項目

1) 広域緑地保全計画

- ・六甲山系、北摂山系から帝釈丹生山系を経て西播丘陵に至る広域緑地帯、広域の見地からのその他の保全緑地等の保全すべき地域における保全計画

2) 広域緑地整備計画

- ・広域の見地からの整備計画
  - ①広域的レクリエーション拠点となる緑地の整備
  - ②広域的な防災機能を有する緑地の整備
  - ③親水性レクリエーション緑地・河川景観軸の整備
  - ④自然とのふれあい拠点となる緑地の整備
  - ⑤歴史文化性とふれあう緑地の整備



図・広域緑地保全整備方針

3) 実現のための施策の方針

- ・既存の都市緑地保全法、風致地区などの緑地保全制度の活用、緑地整備施策などの展開 (緑地保全施策)
  - ・緑地保全地区の指定、既成市街地域における生産緑地などの指定による保全
  - ・風致地区制度の活用などによる緑地景観の保全 など
- (緑地整備施策)
  - ・既成市街地域における都市公園の計画的整備の推進
  - ・山陽自動車道沿道等、開発条件が急激に変化する地域での先行的な都市公園配置 など

3. 市町緑の基本計画策定指針

- ・市町が作成する「緑の基本計画」に寄与する情報として、市町別の主な都市公園の位置規模をとりまとめた整理表及び位置図を都市計画区域別に整理
  - ①阪神間都市計画区域
  - ②東播磨都市計画区域
  - ③中播・西播都市計画区域

IV 第3部 神戸地域・阪神間地域における防災系統広域緑地計画

1. 阪神・淡路大震災にかかる公園利用の実態

1) 都市公園の利用状況

- ・神戸、西宮、芦屋、宝塚、伊丹、尼崎市での震災関連の緊急利用状況を整理
  - ①避難地としての利用 (一時避難地、長期間の避難地)
  - ②救援活動の場としての利用 (物資の保管・配給、救護本部、他)
  - ③震災ゴミや自動車等の置き場としての利用 など

2. 震災復興にかかる防災系統広域緑地計画の検討

1) 防災系統の公園緑地計画の考え方、基本方針

- ・市街地の中のオープンスペースは、避難先、復旧・復興の活動拠点、火災の延焼のくい止めなどの役割を果たしていることを踏まえ、震災復興に資する基本方針等を整理
  - ①安全な都市づくりの骨格を形成する緑地系統の保全・整備
  - ②大都市直下型地震に対応する防災系統緑地の整備
  - ③安心して暮らせる都市づくりに資する公園緑地の整備と都市緑化の推進

2) 震災復興に係る公園緑地の整備のあり方

- ・公園緑地計画の具体的な提案等
  - ①六甲山系、北摂山系の保全強化 (山麓部の近郊緑地特別保全地区の指定)
  - ②広域防災拠点公園の整備
  - ③地域防災拠点公園の整備 など

3. 震災復興計画と公園緑地計画の進捗状況

1) 阪神・淡路震災復興計画 (フェニックスプラン) の概要、都市復興計画における公園緑地関連計画

- ・広域的な防災拠点となる三木総合防災公園や市街地内の公園整備、広域防災帯による防災機能の向上を計画

2) 公園緑地関連計画の進捗状況

- ・神戸市、西宮市の震災復興土地区画整理事業での公園配置等の検討状況